

新たな希望を生み出し、ロータリーを楽しもう

5月の月間 青少年奉仕月間

本日の例会プログラム 第2193回例会 令和6年5月20日

- ・親睦委員会卓話 長澤好太郎 委員長
- ・会員卓話 小園隆司 会員

会長挨拶

井上竜志会長



みなさん、こんにちは。

ご無沙汰しております。3週間ぶりのGW明けの例会でございます。

みなさんGWは、ゆっくり過ごせたのではないのでしょうか？ 天気が、前半後半ともところどころ雨でしたので、外出ができませんでしたので、家でのんびりできたのかなと思います。

私は、雨の降らない合間を見て、南郷のほうへ出かけました。日南方面への高速道路が抜けたので、行かれています方も多く、出口付近ではやはり、少し混んでたように思います。日南へのアクセスが近くなって良くなったと思います。

帰りは、海岸沿いを帰りましたが、すいてまして、スムーズに帰ることができました。多くのバイクの方たちがツーリングをされているのを見ました。

この季節のバイクもいいですね。しかし、事故だけには気を付けたいものです。先週も、事故で子供など多くの方が無くなったみたいです。事故は一瞬にして人生が変わります。

5月の例会は今日と来週の2回しかございません。6月は各委員会ごとの事業報告がございますので、委員長の方は、今年度の事業報告事項をばちばちとまとめていただくとありがたいです。

今年度の例会も残り今日含め6回となりました。最後の挨拶にはまだ早いですが、皆様のご協力もあり、無事に終わることができそうです。

会員増強も目標達成していますし、地区の事業への参加数も多くなってきていますので、皆

出席委員会報告

井野元孝洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(52)55名	メイクアップ数	2名
本日欠席者数	22名	修正出席率	75.93%
本日出席者数	33名	メイクアップされた方(敬称略)	大田寛子、田中靖彦
出席率	63.46%		
ニコニコBOX	0件 累計 207,000円	募金箱	5,258円 累計 175,356円

さんのロータリーへの思いがひしひしと伝わってくるのがわかってきまして、非常にありがたく感じています。

また、来月にでも最後の言葉はその時まで取っておきますが、例会に出席されない方もいますので、ちょこちょここと、お礼のあいさつを兼ねて、話したいと思います。

今日もよろしくお願ひします。

幹事報告

村野 裕幹事



①国際ロータリー為替レート

1ドル=156円

②エコキャップ受領の報告

今回12,040個の受領頂いております。

今後ともご協力のほど宜しくお願いいたします。

③例会場変更のお知らせ

宮之城ロータリークラブより例会場変更のお知らせが届いています。

新例会場：(株)昭和書体事務所内

(鹿児島県薩摩郡さつま町2883-1)

●結婚月

田中 寛会員、川村雅宣会員、高瀬俊彦会員



●誕生月

小園隆司会員、黒木 誠会員



●米山奨学金授与式

ロセリン イアオ メイ チンさん



会員卓話

蛭原 学会員



100年前の日本で起きていたこと ～今、歴史を学ぶことの大切さ～

コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、物価の高騰、政治的意見の対立、災害など、現代社会では様々なことが起きています。実は、約100年前の日本や世界でも、同じようなことが起きていました。時は、大正時代。明治や昭和と比べると15年間と短いことからあまり目立たない印象ですが、この時代に起きたことが後世に与えた影響は小さくはありません。

大正時代は、明治45（1912）年7月の大正天皇の即位に始まります。

大正3（1914）年には、第一次世界大戦が勃発。戦火は世界中に拡大し、国民を総動員しての長期戦に発展しました。日本は連合国側の一員として参戦して太平洋地域のドイツ植民地を占領し、それを「勝利」と称して大いに国威を高揚させました。さらには、連合国側への軍需品の輸出の増加によって空前の「大戦景気」を迎え、国民の所得も増大しました。都市部の生活は豊かになり、ラジオや映画などの大衆文化

が花開いたのです。

激変する政局の間を縫うように、大正7（1918）年以降数度にわたるスペイン風邪の大流行、大正12（1923）年には東京を中心に壊滅的な打撃を受ける関東大震災が起きるなど、疫病や天災にも見舞われました。スペイン風邪の記録は少ないですが、矢板町（現在の矢板市）の医師・五味淵伊次郎の見聞録が残っており（国立国会図書館蔵）、そこからは、雪の中夜遅くまで患者の家を往診して回り、治療法をさぐって奮闘する一人の医師の姿が浮かび上がってきます。

このように、大正時代には現代と類似した部分があり、現代の社会を生きる私たちが教訓として学べるところもたくさんあります。その時々で起きるさまざまな課題に対して、適切に判断しより良い解決方法を導き出すためにも、歴史から学んだことは生かしていくことができるはずです。

大正時代はどんな時代だった？

「大正デモクラシー」「大正ロマン」など多くの言葉が生まれた大正時代は、1912～1926年の15年間です。

大正デモクラシーとは、大正時代に起きた政治に関する動きです。大正時代はまだ普通選挙が行われておらず、選挙権を持つのは一部の人たちだけでした。大正末期の1925（大正14）年にやっと普通選挙法が成立し、満25歳以上の男子だけに選挙権が与えられました（女性の選挙権が認められたのは1945年です）。

大正ロマンは、大正時代に花開いた大衆文化の様子を言い表す言葉です。大正時代は仕事をする職業婦人が登場し、洋装に断髪という特徴的な装いが生まれました。西洋文化の影響を受けた装いの彼女たちは、モダンガールと呼ばれました。1920（大正9）年には、箱根駅伝の第1回も開催されています。また、ベルギーで開催されたアントワープオリンピックでは、日本人選手がテニスで銀メダルを獲得し、日本初のメダル獲得に日本は熱狂しました。このように大正時代は、政治においても文化の面でも、大きな変化があった時期といえそうです。

大正時代のお給料やモノの値段は？

ところでこの頃、市民生活はどのようなもの

だったのでしょうか。

大正末期の大卒サラリーマンの初任給（月給）は、50～60円というデータがあります。また、職業婦人の平均月給はタイピストが40円、電話交換手が35円、事務員が30円だったそうです。当時と今とは物の値段がまったく違います。例えば、当時の米の値段は1升（約1.8L、約1.5kg）が50銭でした。タクシーの運行が始まったのも大正時代なのですが、初乗り料金は最初の1哩（約1.6km）が60銭だったそうです。また、純金1gあたりの小売年間最高価格は、1925（大正14）年で1円73銭でした。

ちなみにそれぞれ現在はどうなっているかというと、大卒初任給は21万円程度、米一升で1,000～2,000円程度、タクシーの初乗りは410～730円程度、金1gは6,500円程度です（2020年5月上旬現在）。何となく当時の生活がイメージできたでしょうか。

大正時代の「100年先の未来」を生きる私たちでは今から100年後はどうなる？

そんな時代から約100年経った2020年。インターネットやスマートフォンなどのおかげで、場所にとらわれず働いたり、遠方の人とコミュニケーションがとれたり、当時からすると想像もつかないような社会になり、生活のあり方は大きく変わったと言えるでしょう。100年という時間は、私たちの社会をこうも大きく変えるのです。

さて、逆に今から100年後は一体どんな社会になっているのでしょうか。5年、10年ならともかく、50年、100年後を想像するのは簡単ではありません。それはおそらく100年前の人たちが今の社会を想像できなかったのと同じです。

しかしそれでも、ずっと先の未来にも思いをめぐらせてみたいものです。当たり前ですが、100年後とは、今年生まれた赤ちゃんが100歳になる頃です。自分の子供や孫たちは100年先の時代を生きているかもしれません。そう考えると「100年後」がちょっと身近に感じられないでしょうか。

日々忙しく過ごしていると、なかなか遠い先の未来に思いを馳せることは難しいかもしれません。広く長い視野でものごとを見て、感じて、考え、日々の変化も楽しんでいきたいものです。



ロータリー用語集の解説

・クラブ例会

クラブは、クラブ細則に定められた毎週1回の例会を定例の曜日、時間、会場で開催します。組織により変更可能。但し最低月2回。ウェブサイト例会も可能。例会に関するあらゆる変更、取り消しは理事会が決定し、クラブ全会員の多数決。ガバナー事務所などに通告しなければなりません。我が国における法定休日は14日あり、例会は休会となりますが、その他会員の死去、地域の災害、流行病が発生した場合、また、年度中4回までは例会を取りやめることができます。ただし、例会を3回を超えて開かないことがあってはならないとしています。

例会は会員が親睦と交流を深める場であり、議論の場ではありません。

・出席

クラブの会員は例会に出席しなければなりません。名誉会員を除く他の会員の会員身分は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、次のような場合自動的に終結します。

- (a) 例会に連続4回出席もメイクアップもしていない場合。
- (b) クラブの会計年度の前半及び後半の6か月間メイクアップを含む出席が50%に達しない場合
- (c) クラブの会計年度の前半および後半のそれぞれ6か月間に開かれた所属クラブの例会総数のうち少なくとも30%に出席していない場合。正当な理由がある場合理事会にて承認。

・メイクアップ

ロータリアンが所属クラブの例会を欠席したとき、または欠席が予定されるとき、自己の会員身分を守り出席の補填を受けられるようにする方法です。

所属クラブ例会を欠席した場合、あるいは欠席が予定されている場合、2週間前の例会開始時刻から2週間後の例会開始時刻までに別のロータリークラブの例会か、他の所定の会合（例えばロータアクトクラブ、インターアクトクラブなど）に出席すればよく、その場合訪問先のクラブ幹事から「訪問ロータリアン報告用紙」

にメイクアップの旨記入されたカードが、所属クラブに送付されます。しかし、その場で受け取る場合もあります。

また、他クラブ例会出席の目的で訪問したとき、会場の臨時変更や時間変更で出席できなかったときもメイクアップとして認められます。また、ロータリアンが、会期2日以上ロータリーの会合（例えば地区大会など）に2日間出席した場合、2回分のメイクアップをしたと申し出ることができます。但し、その会合の日はメイクアップ期間に当てはまらなければなりません。

会員が14日以上にわたり海外旅行をしている場合、メイクアップ期間に拘束されません。例えば3週間海外旅行をする場合、1日のうちに朝食、昼食、夕食クラブ例会に出席し、まとめてメイクアップすることも可能です。

● 宮崎南ロータリークラブ ●

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30~13:30 開催)
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1
TEL. 0985-27-1212